

令和7年1月30日

市政記者クラブ 様

観光文化交流局名古屋城総合事務所保存整備課

担当：岡田、林 電話：231-2488

名古屋城二之丸庭園「余芳」の完成について

この度、名古屋城二之丸庭園に御茶屋「余芳」の移築再建工事が完了したため、報道機関向け内覧会を開催いたしますので、是非ご参加くださいますようお願いいたします。

1 名 称 よほう 余芳

2 所 在 地 名古屋市中区二の丸1番 名古屋城二之丸庭園（裏面位置図参照）

3 建物概要等

- ・構造等：木造平屋建、茅葺き屋根、数寄屋造り
- ・規模：四畳半（延べ面積 11.22㎡）
- ・その他：名古屋市指定有形文化財（昭和48年(1973)10月15日指定）

4 内 覧

日 時：令和7年2月13日（木）14時00分から16時00分

場 所：上記所在地

参加方法：別添の取材申込書を、2月12日(水)10時（厳守）までにFAXにてご返送くださいますよう、よろしくお願いいたします。

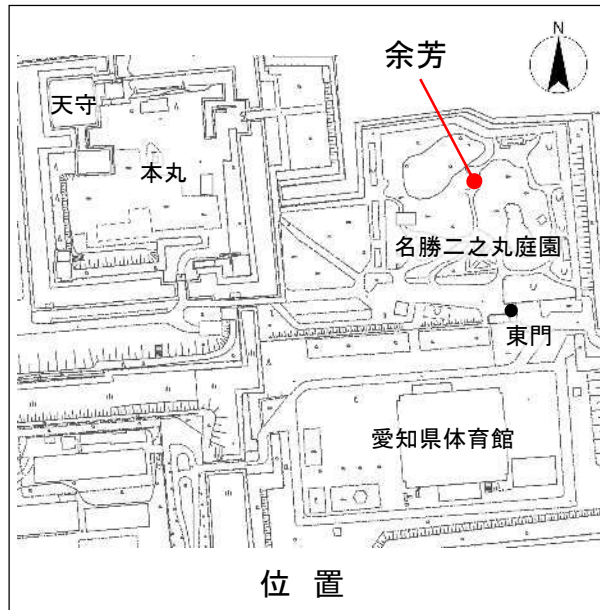
5 取材方法等

- ・当日は、雨戸を外した状態で、建物内外を屋外からご覧いただくことができます。
- ・取材を申し込まれた方は、当日、正門横より入場し名古屋城総合事務所へお立ち寄りの上、人数分の腕章の貸与を受けてください。取材中は腕章を着用し、終了時は同事務所までご返却ください。

6 その他

一般公開は、余芳周辺の庭園整備完了後を予定しています。

【参考】



<概要>

「余芳」は名古屋市指定文化財（昭和 48 年指定）であり、かつて名古屋城二之丸庭園に存在した数寄屋造り四畳半の茶亭（御茶屋）である。

尾張藩 10 代藩主斉朝によって庭園が大きく改変された文政 6 年～10 年（1823～1827）頃に設けられたと考えられ、この時期の庭園を詳細に描く「御城御庭絵図」（名古屋市蓬左文庫所蔵）にも、その様子が具体的に描かれている。

余芳は、明治期に民間に売却されたのち、平成 23 年に所有者から名古屋市に寄附を受けた。再建にあたっては、発掘調査や部材調査等を行い、有識者会議での議論や文化庁との協議を重ね、庭園内の元の場所に移築再建された。

<経緯>

- ・ 文政 6 年～10 年（1823～1827）頃、二之丸庭園に建築
- ・ 明治 4 年（1871）尾張徳川家から民間に売却
- ・ 昭和 48 年（1973）名古屋市指定有形文化財に指定
- ・ 平成 23 年（2011）名古屋市へ寄附
- ・ 平成 27 年（2015）発掘調査、解体部材調査の実施
- ・ 令和 4 年（2022）特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議、復元検討委員会（文化庁）に諮り復元案を確定
- ・ 令和 5 年（2023）9 月 移築再建工事着工
- ・ 令和 6 年（2024）12 月 工事完了

【送付先】名古屋城総合事務所保存整備課 林 宛（FAX：052-201-3646）

取 材 申 込 書	
取材日時	令和7年2月13日（木） 時 分 ～ 時 分
会 社 名	
担 当 者	
連 絡 先	
内 容	名古屋城二之丸庭園「余芳」についての取材
放送／掲載予定日	令和 年 月 日（ ）
番組／記事タイトル	

参 加 者	スタッフ 人・出演者、モデル等 人 計 人
参 考	
そ の 他	

※以下は、事務所職員が記入します。

受付日時	令和 年 月 日（ ）
受 付 者	

2月12日（水）10時までにお送りくださいますようお願い申し上げます。